

中電以外の事業者から

8市町、電力購入検討

市民団体調査

県内の八市町が、中エール計画。電力の購入先を安価な事業者に切り替え、差額で再生可能エネルギー導入を進めるよう自治体に呼び掛けている。調査は八月八日～九月二十日に実施、愛知の全五十四市町村のうち四二市村も購入している。

部電力以外の事業者からの電力購入を検討していることが、脱原発を訴える市民団体の調査で分かった。

団体は、東海三県の主婦や自営業者ら四十人でつくる「電気を力

調査結果によると、中電以外の事業者から既に電力を買っているのは、名古屋市や豊田

市など七市町。団体には、名古屋市や豊田

よると、無回答だった二市村も購入している

る。検討中と答えたのは、春日井市や刈谷市など八市町だった。購入しない理由では「電力の品質に不安」「災害時の復旧体制が不安」などが挙げられた。

団体の石井伸弘代表

は「他の都道府県に比べれば購入先の切り替えは進んでいるが、自治体には中電以外の電気事業者に対する知識不足の面もある」と話している。

している。

(藤沢有哉)